

政 第 1638 号
昭和 3 年 8 月 29 日

外務大臣 殿

在大韓民国

川島臨時代理大使

件名

第24回韓国人原爆犠牲者追悼式 追悼辞

引用公・電報

目付・番号

往電第3208号

主管課（文書記号）

ア北

今般、韓国原爆被害者協会より、標記の冊子入手した。別添送付する。

尚、本冊子は関係者より追悼式に先立ち、追悼辞を入手した上で、^{右協会が}編集・作成したものであり、追悼式出席者ハ式に於いて必ずしも冊子に掲載された通りに追悼辞を述べたとは限りない。この点に注意。

(8)

本借送付先：

本借写送付先：

省内写配布希望先：

付属添付

付属空便（行）☒

付属空便（D P）☐

8151011
長崎市豊後3-4-23
平野伸人 様
社団法人
韓国原爆被害者協会様

8151
長崎市大橋町19-19文芸カテリーナ
初村滝一郎

8月10日 7月7日 3日

平成三年八月十三日

参議院議員

初村 滝一郎

第二十四回原爆犠牲者追悼式が
厳粛な中にも荘厳に
執り行われるにあたり
尊い犠牲となられた皆様に
心からなると冥福を祈念申し上げ
謹んで御霊のとわに安かれと
お祈り申し上げます。

今年、長崎は四十六回目の原爆の日を迎えました。今年はや、日中十五年戦争開始から六十年、真珠湾攻撃から五十年の節目に当たり、改めて冷静に両国の歴史の流れを振り返る必要があります。

戦争遂行の為、強制連行されてきた人たちが被爆という希有で過酷な境遇におかれたのです。異境の地で亡くなった方々、命はとりとめたけれども原爆症、孤独、老齡、差別に心も身もむしばまれてしまった方々もあります。

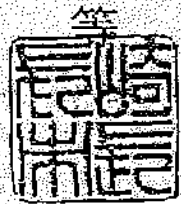
私たちは心から謝罪いたします。そして私たちは戦後の韓国被爆者の境遇について、真剣に且つ早急に取り組む必要があります。私は今年も長崎平和宣言において日本人被爆者と同様援護を強く日本政府に要求しました。韓国人被爆者の援護は焦眉のことであり、義務であると思います。

戦略核兵器削減交渉が妥結されたというニュースは、東西戦の集結を象徴する世界平和実現への大きな第一歩です。しかし、湾岸戦争は、核兵器、生物・化学兵器の使用が使用され危険性を現実にししました。私たちの「長崎は世界最後の原被災都市でなければならぬ」という願いはまだまだ程遠のが現実であります。

本日、第二十四回韓国原爆犠牲者追悼式にあたり、私は、核のない平和な世界の実現と韓国被爆者援護の実現に今後一層努力を重ねることを御霊の前にお誓いし、追悼の言葉といたします。

平成三年八月十三日

長崎市長 本島 等



電 報

受付 69 91/08/09 10:51

6994-9357

10ヒゴゼン

イレイサイ

*オシバナ

ナガサキシ アタゴ 3-4-23

ひらの のぶと様かた

しゃだんほうじんかんこくげんぱくひがいしゃきょうかい

かいちょう

シン ヨンス機

だい24かい、かんこくげんぱくぎせいしゃついついとうしきにあたり、きこくげんぱくぎせいしゃのごれいぜんに、つつしんであいとうのいをひょうするとともに、ひばくしゃみなさまのごけんしょうをおいのりもうしあげます。

ながさきけんちじ、たかだ いさむ

850-
愛宕町3-4-23
方村人仲野平
協同被害者被爆原
会合
議長 幸泳 珠



① ☐ ② ☐ ③ ☐
④ ☐ ⑤ ☐ ⑥ ☐

建設平和禁止兵器核
議會議民長久米潮
議長

第三十四回韓国人原爆犠牲者追悼式が開
催されるにあたり、原爆の犠牲となられた
御霊に対し、ここに慎んで、安らかな御冥福を
お祈り申し上げます。今日東西の冷戦構造
は急速に変化しつつありますが、世界の平和
実現までには、なお遠い感があり、戦後四十六年
経った今なお、多数の被爆者が病床で苦し
んでいるのを見ると、心が痛みます。
私たちは、日韓の被爆者の救援と世界の恒
久平和実現の為、今後とも力の限り努力して
いく所存です。最後に御遺族様の御健勝を
心よりお祈り申し上げます。

平成三年八月十三日

議長

核兵器禁止平和建設長崎県民会議 久米 潮